

2023年3月期の業績について

1. 概況

当期の国内経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中、緩やかに持ち直しが続く一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、経済を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような環境下、当社は顧客の皆様へのきめ細やかな対応に努めると共に適正価格の浸透を図りつつ、メール・電話・WEB会議などを活用したウィズコロナの時代に適応した機動的な販売活動を展開してまいりました。

この結果、連結売上高では地下土木分野での減収を建築・土木両分野での増収で補い、トータルでは前期比812百万円増の59,632百万円となりました。

損益につきましては、鋼材価格、燃料費等が高騰する中、適正販売価格の浸透に努めるとともに、全社一丸となって更なる生産性の向上とコスト削減に取り組み、連結経常利益は前期比60百万円増の3,913百万円、連結当期純利益は2,211百万円となりました。

また、グループ会社につきましても、全社黒字を確保しております。

2. 連結業績

(金額単位:百万円、表示未満切捨)

	2021年度	2022年度	前年同期比増減	増減率
連結売上高	58,819	59,632	812	1.4%
連結経常利益	3,853	3,913	60	1.6%
連結当期純利益	2,439	2,211	△228	△9.3%
(連結経常利益ROS)	(6.55%)	(6.56%)	(0.01%)	

[ご参考]

(金額単位:百万円、表示未満切捨)

	2021年度	2022年度	前年同期比増減	増減率
建築用建材商品	18,530	26,550	8,019	43.3%
土木用建材商品	19,970	20,851	881	4.4%
地下土木商品及びその他	20,318	12,230	△8,088	△39.8%
計	58,819	59,632	812	1.4%

3. 連結財政状況

(金額単位:百万円、表示未満切捨)

	2022年3月末	2023年3月末	前期末比増減	増減率
連結純資産額	38,132	39,131	998	2.6%
連結総資産額	58,555	59,020	465	0.8%
連結自己資本比率	65.1%	66.3%	1.2%	-
連結借入金残高	0	0	-	-

4. 2024年3月期 連結業績予想

連結売上高 620億円程度、連結経常利益 43億円程度

[参考] 連結業績推移

(金額単位:億円、表示未満切捨)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度(予)
連結売上高	579.0	647.2	652.6	613.3	588.1	596.3	620億円程度
連結経常利益	41.0	44.7	49.7	49.6	38.5	39.1	43億円程度
連結当期純利益	23.0	23.5	44.1	33.1	24.3	22.1	

以上